

令和2年度第1回池田町まちづくり会議 報告書

日時等 令和2年7月29日(水)午後6時00分～8時05分、西部地域コミュニティセンター
出席者 まちづくり会議委員23人(34人中) 会議の開始時点では21名
勝井町長、町担当課長等9名、町事務局(企画財政課)5名

1. 開会

2. 町長挨拶

3. 委嘱状交付

4. 報告(説明)事項

池田町まちづくり会議条例第5条第2項により、まちづくり会議は委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができないこととされています。

現時点の出席者は21名で、委員数34名の半数以上が出席していることを全体で確認し、会議に入りました。

(1)「池田町まちづくり会議」について

池田町まちづくり会議条例、同条例施行規則(事前配布)により説明は省略し、条例第2条により、まちづくり会議の役割(下記)において、全体で確認しました。

(所管事項)

第2条 まちづくり会議は次の事項を行う。

- (1) 町長の諮問に応じ、総合計画策定に関する事項について審議し、意見を答申する。
- (2) 町長の諮問に応じ、総合計画の個別実施計画に関し、討議検討会を開催する。

(2) 第5次総合計画の策定に向けたまちづくり会議の進め方

当日配布資料(第5次総合計画策定に向けたまちづくり会議の進め方)により、これまでの経過と今後の進め方について説明しました。

5. 協議事項

(1) 会長及び副会長の選出について

条例第4条により、会長及び副会長2名を委員の互選で定める必要があります。

最初に、選考方法への意見、立候補又は推薦等を募集し、特に無いため、事務局案として、下記の3名を推薦し、全体で確認されました。

会長 十河 学さん(選出団体:十勝池田町農協、前任期の会長)

副会長 遊佐俊治さん(選出団体:池田町商工会、前任期の副会長)

副会長 阿部麗子さん(選出団体:池田町PTA連合会)

(2) 池田町第5次総合計画 骨子(案)について

事前配布資料(池田町第5次総合計画 骨子(案))により、令和3年度を初年度とする新たな総合計画(以下、第5次総合計画)の構成、策定の考え方や方向性について、全体で確認しています。

(3) 池田町第5次総合計画 総論(案)について

事前配布資料(池田町第5次総合計画 総論(案))により、総合計画の本体部分(基本構想、基本計画)の策定に向けた序論部分の原案として説明し、協議を行いました。主な意見(内容要旨)は、下記のとおりです。

委員意見) 3ページ、情勢部分(4) 経済社会のグローバル化と高度情報化の進展

この内容について、昨年であれば良かったかもしれないが、今はこれまでの現状が崩れつつあると思う。長期的な計画を立てるうえで現状把握をしっかりと見誤る場合もあると思う。産業構造は変化していく可能性が高いので、国内や海外の産業構造を十分リサーチする必要があると思う。

委員 A 意見) 4ページ、情勢部分(7) 感染症予防対策を取り入れた生活様式への対応

総合計画は10年間という長期計画。今後新型コロナウイルスが10年継続するというのは考えにくい。もし1年後、2年後完全に終結し、以前と同じ生活に戻った場合、削除されるべき状況という認識で良いか。

回答) 池田町役場企画財政課

この感染症対策が不要になる状況になれば削除できると思うが、今回の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により生活が一変したことに間違いはない。今後も今回のような新たな感染症が出てくる可能性も含めた中で、従来生活様式を見直していかなければならないという考え方を示したが、皆様にも意見を頂きながら今後も検討していきたいと思う。

意見 B 意見) 4ページ、情勢部分(7) 感染症予防対策を取り入れた生活様式への対応

感染症対策は基本的には国が行うが、地方でもある程度の対策、話し合いも必要だと思う。

回答) 池田町役場企画財政課

本日のご意見を参考に、検討していきたいと思う。

意見 C 意見) 5ページ、現状とあゆみ(2) 歴史的なあゆみ

第4次総合計画の中のあゆみの流れではアイヌ民族についての記載があるが、今回はない。町の原点と反することなので、加える必要があるのではないか。

回答) 池田町役場企画財政課

町勢要覧の記載内容に合わせたもの。本日のご意見を参考に、検討していきたいと思う。

意見 D 意見) 5ページ、現状とあゆみ(2) 歴史的なあゆみ

アイヌ民族が先住民族だと国会で承認されたが、安易に流行りにのり、商業主義にならないようにすべき。

回答) 池田町役場企画財政課

ご意見としてお伺いします。

その他の意見はなく、十河会長より「内容確定にはまだ期間がありますので、お気づきの点があれば、随時ご意見頂くこととしたい」とされ、本日の協議は終了となりました。

(4) 専門部会の設置について

第5次総合計画の策定に向け、条例第6条により昨年7月に設置した専門部会について、委員改選により改めて確認するとともに、施策体系の原案作成に伴い、担当分野と選出団体数の整理再編により、4部会を3部会に変更することについて、全体で確認しました。

(5) 地域づくりの方向性の検討（意見交換）

専門部会の部会長と副部会長の選出

（次回に確認することとしました。）

池田町第5次総合計画 施策体系（案）に基づく協議、意見交換

専門部会において、施策体系（案）に基づき、日頃感じている現状と課題、対応方向などについて、協議・意見交換を行いました。（19：05～19：50）

協議の内容（意見等要旨）は、別紙のとおりです。

6. その他

次回、8月下旬にも会議を開催し、本日の協議事項(5)地域づくりの方向性の検討（意見交換）について、引き続き行うことを説明し、全体で確認しました。

その他として、委員より、先の池田町議会定例会議における「池田町農業委員会の委員の任命につき同意を求める件」に係る審議等経過に関し、町議会議長等のまちづくり会議への出席により説明を求めたいとする意見がありました。

なお、下記意見についての対応は、検討のうえ決定することとされました。

委員発言の要旨

- ・ 3名の町議会議員が、農業委員会の委員の任命につき同意を求める件に対し、その全員について同意しないとした行動への理由の説明を求めたいとすること。
- ・ 3名の町議会議員が、議員としての立場により特定の農業委員会の委員候補者の推薦者となっていたことに対し、町議会としての見解を求めたいとすること。
- ・ 町議会の審議は、まちづくり会議や住民参加による審議会等の意見を十分尊重したものとなっているか、町議会としての説明を求めたいとすること。

7. 次回の開催予定

8月下旬にも会議開催を予定することを全体で確認しました。

8. 閉会

(令和2年7月29日令和2年第1回池田町まちづくり会議)

専門部会協議結果報告：保健福祉、教育部会

1) 出席状況：部会員（池田町まちづくり会議委員）

別紙、出席者名簿のとおり

2) 出席状況：町職員等

鈴木福祉課長、小林保健子育て課長、高畠保健子育て課主幹、永田教育課長、天野企画財政課長

3) 協議の内容

全員の自己紹介の後、基本目標「保健、医療、福祉、子育て支援分野」及び「教育、文化スポーツ分野」について、協議した。

保健、医療

委員) コロナ対策での検温、手指の消毒がされていて大変良い。

委員) 地域医療センターの外科外来が午前中だけで、けがの多い午後にけがをした場合はよそへ(帯広へ)行かなければならない。

職員) 地域医療センターには医師が6名おりそのほか研修医もいる。地域医療センターは総合的に診てもらえるので、午後の受診でも対応できる。

委員) 外科の専門医がいなくて受診しても、結局その日で解決できないので、専門医がいるときに再度来院といわれる。

職員) そのような声があることを伝える。

委員) 帯広の泌尿器科に月に何度か通院している。近くで受診できればと思う。

職員) 泌尿器科は月2回、第1、第3月曜の午前中に開設している。このほか、皮膚科、眼科も開設している。

委員) いつ、どの科がやっているのかわからない。

職員) ホームページや広報紙の裏面でお知らせしている。

委員) 最近、町内の歯科医院が混んでいる。歯科医を町内に呼ぶことはできないのか。

職員) 行政として呼ぶことは難しい。現状、町内には歯科医院が4件ある。全体として持続可能な医療の継続が必要と考えている。

福祉、その他

委員) 役場に外に向けて時計が欲しい。バス待ちで時間を確認できない。

職員) 役場西側の施設案内板の上部に時計を設置している。

委員) コミュニティバスは土日に運行していない。車を持たないお年寄りが買い物に行けないとよく聞く。スーパーでは土日に特売がある。毎週でなくとも土日に運行できないか。コロナでお年寄りが出歩かなくなっている。買い物でも外出の機会があったらと思う。

職員) コロナで外出が自粛となっている。これまで家から出てきてもらう政策を進めてきている。マックスバリュウの2階の活用などで、広がりが増えてきたところであったが、コロナで外出ができなくなってしまっている。今は、家で運動してとっているが介護の関係からも交流やスマ

ートフォンの活用などは難しいので、家にこもらず少しずつでも外出してほしいと考えている。
コミュニティバスの活用はご意見として、何ができるか検討したい。

教育

委員) 遊ゆう大学の関係で、マスクや手の消毒を呼び掛けているが、なかなか徹底されない。授業
以外でもいろいろな集まりがある。指導徹底をお願いしたい。

委員) 図書館の利用者数や貸出冊数が減少しているが、その理由についての検証はしているのか。

職員) 減少の内訳としては、大人より子どもの利用の減少が目立っている。児童生徒数の減少があ
ると考えている。

(令和2年7月29日令和2年第1回池田町まちづくり会議)

専門部会協議結果報告：産業振興部会

1) 出席状況：部会員（池田町まちづくり会議委員）

別紙、出席者名簿のとおり

2) 出席状況：町職員等

大堀産業振興課長、佐野ブドウ・ブドウ酒研究所営業課長、長谷川企画財政課主幹

3) 協議の内容

全員の自己紹介の後、基本目標「産業振興分野」について、協議した。

農林業について

委員) 町内2農協が令和3年に合併し、振興計画を令和3年4月に完成させる。今後の課題は規模拡大による担い手不足のため外国人労働者にたよるしかない。現在も町内に20名以上の外国人が野菜・酪農に従事している。この労働者の住宅を用意する必要があるが、ベトナム・中国は文化の違いと歴史から共同生活はできない。やはり個室でプライベートが確保された環境を用意することが急務。

委員) 長年池田にいるが商店街が回復されないし今後も変わらない。浦幌町は町並みも回復している。観光はコロナの影響で外国人が来ていないが、今後外国人は期待できないと思う。よって国内・十勝のリピータを大切にしなければならない。

委員) 自分も今後外国人は期待しないほうが良いと思う。もっと町内の商品開発を行い、地産地消をPRしていくことが大切。池田に来なければ食べられないもの、体験できないことなどで掘り起こしが必要

委員) 今年はコロナの影響でワイン祭りを中止したが、これまでの方式に限界を感じる。国内・道内から参加者が大半でイベント化している。だれの祭りなのか？町民の気持ちから離れている。管内を見ても池田だけ産業まつりが無い、来年のワイン祭り内容も検討が必要と感じる。

委員) 賛成である。もっと地元商品をPRする場所がほしい。中小企業家同友会としても是非お願いしたい。

委員) 建設業として地域の生活基盤を担う立場として重要と感じている。しかし、建設業だけではなく町内にダンプも建設資材店も無い状態で町外に依存しなければならない状態。ダンプは町外から来ることから災害時には地元優先のため手配できない状態にあることが現在の課題だ。

委員) 前半の説明で池田から通勤している人が多い。豊頃町は町外通勤者に通勤手当を支給して町内に居住するようにしている。この手法を取り入れ池田の地理的に優位なことをPRして札内・幕別・音更方面の通勤者を増やすことも大切。人口減少していくと商業施設も撤退してしまう。池田以外に豊頃・幕別本町からも買い物に来ている。もし無くなると池田町民が買い物難民になり生協の宅配、移動販売に依存しなければならない。

委員) 話は変わるが、全国で災害が多数発生している。空き家再利用も考えて被災住民を受け入れることはどうか？簡単には行かないと思うが...

職員) このような場合北海道から各市町村に対し公営住宅の空き戸数と受け入れ人数の報告を求められる。

(令和2年7月29日令和2年第1回池田町まちづくり会議)
専門部会協議結果報告：生活基盤整備、移住交流部会

1) 出席状況：部会員（池田町まちづくり会議委員）

別紙、出席者名簿のとおり

2) 出席状況：町職員等

餌取総務課長、酒井町民課長、畠中建設水道課長、齋藤企画統計係主査

3) 協議の内容

全員の自己紹介の後、基本目標「生活基盤等分野」及び「協働のまちづくり、自治体運営分野」について、協議した。

消防、救急

委員) 救急車の乗り心地が良くない、そういう意見も聞くし、自分もそう思う、改善できないか。

委員) 路面状況、スピード、車両のクッション性など様々な要因が考えられる。

委員) 車両の改良とかではなく、衝撃吸収マットに変えるとか工夫できないか。

職員) 意見は消防には伝える。

委員) 緊急通報から何分で救急車は到着するか。

職員) 市街であれば3分程度。昭栄など郊外は署からの距離にもよる。現在池田は2台保持している。体制を維持するのは大変だが、2か所同時でも対応が可能。十勝全体で広域化され、自分のまち以外でも要請があれば出動する。

委員) 今年は春先から消防車の出動回数が多いがなぜか。

職員) 農家のごみ焼が主な要因である。

防災

委員) 自分が移住して来てから災害が増えたといわれる。ブラックアウトの経験もあり電源対策は大丈夫なのか。

職員) 自家発電用の整備は今年度進めている。

委員) 水害対策はどうか、変電所も浸水地域にあり、越水があれば停電が発生する。

委員) 避難対策は十分か。町内会でも行っているが、娘が来てくれるからと言って、避難しない年寄りもいる。

職員) 町内会単位で取り組んでいる自主防災組織は有効な手段、手助けが必要な人を事前に把握し、早めに行動することができる。

委員) 避難勧告と避難指示が統一されるが、避難指示が出されて年寄りには避難に間に合うのか

職員) お年寄りには避難指示の前に要請する手順となっている。現在防災ラジオの全戸配布の整備を計画している。

委員) それはいい方法だ。雨がひどい状況ではサイレンや放送では伝わらない。

職員) 池田・利別の市街地は浸水地域にあり、十勝川と利別川の両方の影響を受けるので河川掘削や堤防の強靱化などを進めると同時に、避難体制の整備が重要。但し、コロナ対策を考えると避難所の数は不足している。

生活基盤整備（河川、道路、生活交通、公園緑化、水道、下水道）

委員）よく話を聞くのは公園、特に子供連れで安心して遊べる広々とした公園のイメージ、遊具も必要と思う。子育て世代の話を聞いて検討すべき。

職員）計画として挙げているが財政的な問題もあり、進んでいないのが現状。具体的な計画はない。

部会長等の選出

部会長について、森尾今朝博さん（一般応募）を選出することを全体で確認した。なお、森尾さんからは「移住してきたばかりなので…」ということであったが、「外から見た池田町の意見も反映されるのでは」と声もあり、そのうえで、部会長となることに快諾を頂いた。

副部会長について、角谷伸次さん（池田町町内会連合会）を選出することを全体で確認した。なお、角谷さんから「それぞれの選出団体を代表しての意見となるのか」との確認があった。まちづくり会議は、それぞれの団体から選出された委員と一般応募委員による会議であるが、会議ではあくまでも委員個人としての意見を発言頂いて問題ない。なお、まちづくり会議の内容を選出団体にも報告して頂くのは大いに進めてほしいが、意見を集約して発言してほしいということではない」ということを確認した。